

# 地域で豊かな経験を

今治南高校（今治市常盤町7丁目）の生徒が、子ども食堂を通じて子どもの支援に力を入れている。2025年12月26日には同校で初めてとなる子ども食堂「もぐもぐいまんKITCHEN」を開催。地元の小学生に芋炊きを振る舞い、勉強を教えるなどして交流を深めた。

## 今治南高で初の子ども食堂

同校生は24年から、子どもや1人暮らしの高齢者らに向けた地域食堂「れんこん」（同校生は24年から、子どもや1人暮らしの高齢者らに向けた地域食堂「れんこん」（同校生は24年から、子どもや1人暮らしの高齢者らに向けた地域食堂「れんこん」）

徒約30人が企画・運営した。

今治南高の調理室では、園芸クリエイト科で生産したサトイモとハクサイを使った芋炊きを提供した。「よく食べたね」「学校は楽しい？」「和やかな雰囲気です」と児童はすぐに打ち解け、会話を弾んでいた。



児童の学習を見守る今治南高生

## 児童と芋炊きで交流

## 冬休みの宿題手伝いも

市北島生町1丁目の見守ったり、計算を教えた。また参加したい経験を重ねてもらいたい。2025年12月26日には同校で初めてとなる子ども食堂「もぐもぐいまんKITCHEN」を開催。地元の小学生に芋炊きを振る舞い、勉強を教えるなどして交流を深めた。

楽しそうに児童と芋炊きを食べる今治南高生。常盤小1年の御堂海開き、かき氷を提供し、今後継続していきたい」と意欲を語った。

（西尾寛昭）